

# 「小さな親切」運動静岡県本部賞

## 私をかえた魔法の言葉

浜松市立可美小学校 六年

あらかわ  
荒川 美和



私は「三人組」が苦手だ。友達と三人で過ごす、どうしても二人と一人になってしまうからだ。一人だけ分らない話をされると、むねがチクチクする。仲の良い友達のはずなのに、二人がとても遠い存在に感じて、その場にいるのが辛くなる。

二年生のころ、私は二人の友達と三人で遊んだ。二人にしか分からないゲームの話、SNSの話についていけなかった。二人は何も気にしていなかったけれど、私はその日以来、三

人で遊ぶ事が怖くなった。「また私だけ話に入れなかったらどうしよう…。自分だけ楽しめなかったら…。遊びに行くのいやだな。不安でいっぱいになった。」

六年生になった今も三人組が苦手で、三人になりそうになると、ついその場をはなれてしまう。そうしているうちに、いつの間にか、「三人組に入る」事も苦手になってしまった。自分が輪に入れば四人。三人組でなくなるのに。

そんな時、私が声をかけられずにいる事に気付いてくれた

子がいた。その子は、誰とでも仲良くできる活発な子で、いろんな友達と話せる子だ。その子といるのは楽しいけれど、私はその友達のように積極的に声をかけられるタイプではない。その事に、その友達は気付いてくれたのだ。

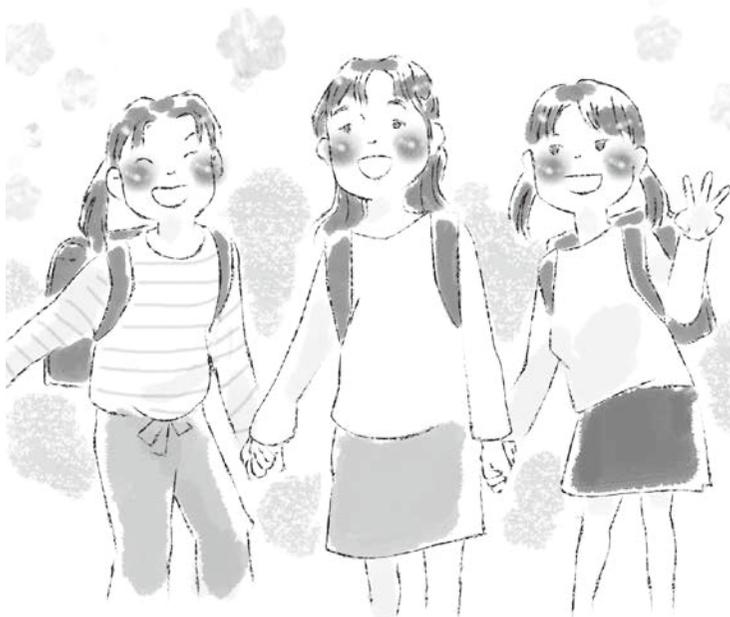
「最近一緒にいられなくてごめんね。私が他の友達という時も、全然話しかけていいからね。」

今まで友達にこんな事を言われたのは、初めてだった。私の心の不安を、その友達は救ってくれた。心がじんわり温かくなって、私は一人じゃないんだとほっとした。とても嬉しくて、力が入っていた体が、少しずつやわらかくなった。自分が三という数字にこだわりすぎていたんだ。一度いやな思いをすると、また同じ事が起きるのではと決めつけてしまう。でも決めつけていたら、私は新しい友達関係を築けない。自分の思いを相手に伝えていなかった事にも気付いた。自分の気持ちを声にして伝えないと、相手に思いは届かない。思っている事を言わないで分かってほしいというのは、私自身も優しさが足りていなかった。

私も私の気持ちを察してくれた友達のように、思った事感じた事を声にして、相手とより良い関係を築いていきたい。声に出して話す事は、デジタルな文字と違って、相手の表情や声の色を感じる事も出来る。勇気がいる時もあるけれど、

本当に分かり合いたい時、思っている事を相手の顔を見て話す事で絆が深まると思う。そして、私と同じように友達の間でなやんでいる子がいたら、声をかけて助けようと思った。声をかけ合って、一人でなやむ事がない世の中になったら、親切から生まれる笑顔が増えるだろう。

「ねえ。私にも教えてくれない？」



# 「小さな親切」運動静岡県本部賞

## 「小さな心くばりの継続」

牧之原市立相良中学校 一年

四ノ宮 瑞葵



私が朝起きる前、いつもおばあちゃんは外に出かけます。家族で朝食を食べる頃には、おばあちゃんもそろって、普段通り一日が始まります。

ある朝、早く目が覚め、外の空気を吸いに行った時、外におばあちゃんがいる、汗をぬぐっていました。

「おばあちゃん。なんでそんなに汗をかいているの？」と聞くと、

「公民館の花の手入れをしてきたんだよ。」

と言いました。

私は役割があるのだろうと思い、

「ありがとう。」と言ってその日は過ぎました。

次の日もまたおばあちゃんはお出かけしていききました。それが何日か続いているので、

「役割が多いから、断ったりしないの？」と言って心配して声をかけたところ、おばあちゃんは笑って応えました。

「役割はないんだよ。」

その言葉にびっくりしました。役割でもないのに、何で花の

手入れをしているんだろう。暑い思いまでして。と、私は思いました。

そこで、気になっていたことを詳しく聞いてみようと思いましたが。

おばあちゃんは、丁寧に話してくれました。

今まで仕事をしていて、仕事に徹していたために、地域の方々の触れ合いなど、十分に関わることができなかったという想いを知りました。さらに、話を続けてくれました。地域の集まりに参加した時、みんなが使う公民館に潤いが欲しいという話が挙がったようです。そこで、花を育てようという提案が生まれました。おばあちゃんは、花の育成に関わりたいと思い、花づくり、水やり、草とりを行うようになったと聞きました。特に、印象に残っている言葉があります。

「とても楽しいよ。」という予想外の言葉です。その言葉を聞き、人への心くばりと考え方が変わり、温かな気持ちになりました。自ら楽しく、相手も嬉しくなるような小さな親切を行動に移していることが凄いなと思います。

大切なことは、小さな心くばりの継続だと私なりに考えを持ちました。

おばあちゃんと一緒に、花の手入れに行ってきました。水やりをしていたら、多くの人が声を掛けてくれました。いつもと

違う花の綺麗さにも気付きました。大変さはあったけど、行ってみて心地よかったです。楽しいという気持ちもよく感じ取ることができました。

この機会を通して、ちょっとした心くばりを持ち、自分から行動することで、自分も周りも豊かな気持ちになることを学びました。おばあちゃんの行動が私に影響を与えたように、心くばりの行動は周りの人達にも自然に広がっていくような気がします。大きいことより、小さな親切を大切にし、それを続けていくことで、私なりの新しい生き方を育んでいきたいと思っています。

